

「論文がうまく書けません。コツを教えてくださいませんか？」

平成 28 年 4 月 26 日

●虚無僧さんからの質問

西田先生、こんばんは。いつも週刊西田を拝見しています。人生相談なのですが・・・社会人枠で大学入試を考えております。受験科目で小論文があるのですが私は論文を書いた事はありません。手探りの状態で試行錯誤してまします。小論文の書き方のコツを御教授下さい。

●西田昌司の答え

論文の記述も演説も同じことが言えますが、自分の考えをしっかりと持っていないとできませんし、逆にそれをしっかりと持てば自然とできてしまうはずです。

私は『機関紙 showyou』という文章を年に 4 回書き、その時々には訴えたいことを私の支持者や世間に伝えるよう努めています (<http://showyou.jp/showyou/>)。何を書くかについては常日頃から考えていますし、そのような問題意識がなければ当然書けません。

そのように問題意識を持った上で、「何が問題か?」「その問題の原因は何か?」「問題解決するにはどうすればよいか?」「問題解決したらどういった未来が待っているか?」といった具合に起承転結を自分の頭の中で整理していくと論文は自然と書けるはずです。結局、「自分の頭で考えてください」が私の答えとなります。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>